



令和6年12月5日(木)

第18回のしろ市民まちづくりフォーラム開催 編

のしろ市民まちづくりフォーラムは今年度で18回目を迎え、能代市旧料亭金勇 大広間にて一般聴講及びWEBを活用した配信での開催となりました。

今回は「風景街道による持続的な地域づくり」をテーマに各講師よりそれぞれの活動を通じた地域づくり事例を紹介いただきました。

基調講演第1部では、愛媛大学 社会共創学部 教授 羽鳥 剛史氏より、愛媛県の「南いよ風景街道」の取り組みをとおして、後世に地域アイデンティティを継承するためにはどのようなことを実践していけば良いかご紹介いただきました。

第2部では、一般社団法人 北海道開発技術センター理事の原 文宏氏より北海道のシーニックバイウェイやアメリカの取り組み、「ほっかいどう学」についてなど多様な取組事例をご紹介いただきました。

フロアディスカッションでは、基調講演をいただいた講師2人の他に、前回講演いただいた愛知県田原市 都市建設部 建設調整監の志賀 勝宏氏にもオンラインで参加いただき、歴史や文化の継承を進めるために、それぞれの地域でどのように取り組んでいるかなどの情報提供や、風景街道をとおした広域交流についてのそれぞれの考えなど、講師の方々から多様なお話しをいただき、参加者全員で今後の風景街道について、考えることができました。

第18回のしろ市民まちづくりフォーラムでは、会場聴講者65名、WEB聴講者37名の合計102名参加いただき、大変有意義なフォーラムとなりました。今回のフォーラムを通して得たものを形に出来るよう個人としても積極的に活動参加していきたいと思っております。

文：成田 和幸



会場状況「能代市旧料亭「金勇」



愛媛大学 社会共創学部 教授 羽鳥 剛史氏



(一社)北海道開発技術センター 理事 原 文宏氏



オンラインを併用したフロアディスカッションの様子